

一般社団法人真岡青年会議所 2026年度委員会事業計画

総務広報委員会

委員長 小川 浩典

<p>委員会設置背景</p>	<p>真岡青年会議所は、57年という長い歴史の中で誇りある伝統を積み重ねてきました。しかし近年、会員数の減少や価値観が多様化し伝統を知る機会が減少しています。規範となる伝統を受け継ぎ、時代変化に適応した柔軟な組織運営を行う必要があります。また、私たちの活動を広報する組織体制が確立しておらず魅力を十分に発信できていません。私たちの魅力ある活動を人びとへ発信できる組織体制を作り、地域に波及させる必要があります。</p>
<p>委員会設置目的</p>	<p>真岡青年会議所の受け継ぐべき伝統を知り、時代変化に調和させることを目的とします。また、広報体制を確立して私たちの活動が人びとに広く認知され、共感を得ることを目的とします。</p>
<p>運動手法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1月第一例会 1年間の活動方針を認識・共有するために、伝統を継承しつつも時代変化に適応した通常総会を開催し、組織としての結束力を高めます。 ・7月第一例会 メンバーの視野を広げるために、日本青年会議所の事業に触れることができるサマーコンファレンスへの参加を促進し、メンバーの真岡青年会議所での活動及び対外出向のモチベーションを高めます。 ・8月第一例会 これまでの活動成果の把握と次年度体制を確立するために、臨時総会を開催し、今後の活動と次年度体制への意欲を向上させます。 ・12月第一例会 1年間の活動を総括し次代へとつなげるために、臨時総会を開催し、次年度をより良いものとする契機とします。 ・12月第二例会（卒業式） 卒業生が青年会議所での活動を通じて、入会から今日に至るまでの成長をどのように実感しているか、振り返りを踏まえて現役メンバーに伝えていただくために、卒業式を開催し、現役メンバーの今後の活動への意欲を高めます。 ・広報活動 私たちの活動の魅力を人びとに共感してもらうために、広報体制を確立させSNSを筆頭にホームページや真岡新聞Plusで活動風景や例会・交流会情報を発信し、私たちの活動を地域に浸透させます。
<p>1年後の効果</p>	<p>真岡青年会議所の伝統を理解したメンバーは活動意欲が高まり、メンバーの模範として次代につながる結束した真岡青年会議所を実現します。さらに、メンバーは真岡青年会議所の魅力を実感し、人びとが共感し、地域に必要とされ参画したくなる真岡青年会議所を実現します。</p>